

臨床心理室

廣常秀人

1. スタッフ

臨床心理室長：廣常秀人（兼精神科科長）
常勤スタッフ：仲倉高広、森田眞子、安尾利彦
非常勤スタッフ：大谷ありさ、藤本恵里
リサーチレジデント：宮本哲雄、鍛冶まどか
遺族専門家相談員：西川歩美

2. 概要

2007年7月より臨床心理室は、①病院の理念に基づく事業であること、②質の高い医療の提供に貢献すること、③疾患と心理状態の関連が研究されていること、④医療者－患者関係と保健行動との関連で医療の効果が左右すること、⑤診療科間のサービスの格差をなくすことの5点の目的や理由により、全診療科の患者やその家族等に対応可能な臨床心理室として再編された。一昨年度より常勤臨床心理士3名、非常勤臨床心理士2名、エイズ予防財団リサーチレジデントの臨床心理士2名、遺族相談員の臨床心理士の8名体制となった。

現在、臨床心理室は、患者や家族等の心理相談、心理検査、各診療科・チームとのリエゾン・コンサルテーションといった心理臨床活動に加え、臨床心理室内のカンファレンス、臨床心理室運営会議、臨床心理学専攻の大学院生の実習受け入れ、近畿ブロック管内のメンタルヘルス相談、心理に関する研修の企画・運営・講義・講演、そして、研究を主に行っている。

今後の臨床心理室は、スタッフの心理臨床能力の向上・維持を図り、より多くの患者や家族等へ質の高い臨床心理学的支援を提供していくことが今後も重要であると考えられる。そのため、各スタッフが研修やスーパーヴァイズを受けやすい労働環境を整えること、臨床心理室内のカンファレンス、事例検討会など、教育体制を充実強化することを通してスタッフの質の向上を図ることが課題である。

日々の実践に加え、厚生労働省科学研究費による研究班に分担研究者や協力者として貢献すること、実習受け入れによって後進の指導に参加すること、総合病院における臨床心理室の役割を他施設に伝えることを通じて医療の総合的な充実に資することなども、当臨床心理室にとって重要な任務である。

以上まとめたように臨床心理室の業務は、心理面接や心理検査などの臨床業務は当然のことながら、各種研修や研究班の活動など多岐にわたっている。

【2013年度研究発表業績】

A-0

Hasegawa C, Umemura K, Kaji M, Nishigaki N, Kawai T, Tanaka M, Kanayama Y, Kuwabara H, Fukao A, Miyauchi A. Psychological characteristics of NEO-FFI and the Tree Drawing Test in patients with thyroid disease. *Psychologia* 2013;56:p.138-153(2013年6月)

A-4

松下修三、健山正男、岸田修二、田沼順子、仲倉高広：「HANDをどう診断していくか」。「HIV BODY AND MIND」2(2)。2013年12月

A-5

仲倉高広：HIV陽性者の心理学的問題の現状と課題に関する研究。平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症及びその合併症の課題を克服す

る研究 平成 25 年度報告書」、2014 年 3 月

B-1

Tanji Saito Y, Nishikawa A, Tsujimoto E, Taketani R, Maruyama A, Ono H : Simple psychoeducation conducted in a clinic for patients with bipolar II disorder. The international society for bipolar disorders, Soul, KOREA, 2014 年 3 月

B-3

仲倉高広 : HIV 陽性者の心理的問題の現状と対応、「HIV 診療・診療体制にみられる最近の変化」。第 87 回日本感染症学会学術講演会、第 61 回日本化学療法学会総会・合同学会、横浜、2013 年 6 月

仲倉高広 : 「精神的支援」ということばをめぐって臨床心理士が考えること。シンポジウム 8 (看護) HIV 陽性者にとって医療者による精神的支援とは?。第 27 回日本エイズ学会・学術集会・総会。熊本、2013 年 11 月

B-4

鍛冶まどか、仲倉高広、下司有加、東政美、鈴木成子、池上幸恵、上平朝子、白阪琢磨 : HIV 感染をきっかけに他者に不信感を持った HIV 陽性者の風景構成法についての検討。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

鍛冶まどか、仲倉高広、宮本哲雄、安尾利彦、森田眞子、太谷ありさ、藤本恵里、西川歩美、下司有加、東政美、鈴木成子、池上幸恵、上平朝子、白阪琢磨 : HIV 感染症に関連する神経心理学的検査結果と CD4 値、ウイルス量との関連。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

仲倉高広、下司有加、渡邊大、白阪琢磨 : 箱庭療法が奏功した HIV 陽性者の心理療法～広汎性発達障害のある HIV 陽性者の事例～。第 27 回日本エイズ学会・学術集会・総会。熊本、2013 年 11 月

安尾利彦、仲倉高広、廣常秀人、白阪琢磨、山中京子 : HIV 医療におけるカウンセラーの勤務形態および臨床設定の違いによる、カウンセリング機能の明確化の試み。第 27 回日本エイズ学会学術集会総会、熊本、2013 年 11 月

B-8

森田眞子 : 服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV 感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2013 年 5 月

仲倉高広 : 事例検討会事例提出「HIV 陽性者の心理療法」。大阪、2013 年 5 月

森田眞子 : グループワークファシリテーション。看護部・なのはな共催リフレッシュ研修、大阪、2013 年 6 月

宮本哲雄 : 「対人関係」講師。京都橘大学皮膚・排泄ケア認定看護師講義、京都、2013 年 6 月

森田眞子 : 服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV 感

感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2013年6月

仲倉高広：HIV陽性者とスピリチュアル・ケア、関西学院大学学部生講義。兵庫、2013年6月

西川歩美：コメンテーター。平成25年度遺族交流会、東京、2013年6月

西川歩美：コメンテーター。平成25年度遺族相談員研修会、大阪、2013年6月

安尾利彦：メンタルヘルスケア。人事院近畿地区中堅係員研修、大阪、2013年6月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2013年7月

仲倉高広：HIV陽性者の神経心理学的検査の事例検討のコメンテーター、「平成25年度心理職対象HIVカウンセリング研修会（初心者向け）」。広島、2013年7月

仲倉高広、宮本哲雄：スピリチュアル・ケア。非常勤講師（講義と実習）、関西学院大学大学院、兵庫、2012年8月

森田眞子：HIV陽性者の心理的支援、HIV陽性者の看護③チーム医療：チーム診療の実際。HIV/AIDS看護師研修会初心者コース、大阪、2013年9月

森田眞子：HIVとカウンセリング。HIV感染症研修会、大阪、2013年9月

仲倉高広：若年層MSM感染者・患者が抱える心理的問題。東京、2013年9月

藤本恵里：「日常会話ができる人を求めて来談を続けた40代男性との面接から」事例提供。近畿ブロックHIV/AIDS医療におけるカウンセリング研修会、大阪、2013年9月

大谷ありさ：「病棟での噴怒が問題となったHIV感染症患者との面接過程」事例提供。近畿ブロックHIV/AIDS医療におけるカウンセリング研修会、大阪、2013年9月

安尾利彦：メンタルヘルスケア。人事院近畿地区中堅係員研修、大阪、2013年9月

西川歩美：コメンテーター。平成25年度遺族交流会 京都、2013年10月

森田眞子：HIVとカウンセリング。HIV感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）／HIV感染症看護師実地研修（1ヶ月コース）、大阪、2013年10月

森田眞子：グループワークファシリテーション。エイズ予防財団平成25年度HIV検査相談研修、大阪、2013年10月

森田眞子：グループワークファシリテーション。なのはなセルフケア研修、大阪、2013年10月

森田眞子：HIV感染症と心理カウンセリングの関わり。近畿ブロックHIV/AIDS医療におけるMSW研修、大阪、2013年10月

森田眞子：HIV 陽性者の心理的支援、HIV 陽性者の看護③チーム医療：チーム診療の実際。HIV/AIDS 看護師研修会初心者コース、大阪、2013 年 10 月

安尾利彦：HIV 感染症と物質依存。HIV 感染症医師実地研修（1 ヶ月研修）、大阪、2013 年 10 月

安尾利彦：HIV 感染症と物質依存。HIV 感染症看護師実地研修会(1 ヶ月研修)、大阪、2013 年 10 月

安尾利彦：心理支援・カウンセリングとは。エイズ予防財団平成 25 年度 HIV 検査相談研修会、大阪、2013 年 10 月

安尾利彦：仕事とメンタルヘルス。東近江総合医療センターメンタルヘルス研修会、滋賀、2013 年 10 月

仲倉高広：A person who kept on saying “Nonsense!” and “I wish I were dead!” ~ A soap is itself only after it is used, though it becomes the bubble and disappears when it is used ~. 厚労科研課題克服班事例検討会。京都、2013 年 11 月

森田眞子：HIV 感染症と薬物依存・精神疾患患者への心理的関わり。近畿ブロック HIV/AIDS 看護師研修応用コース、大阪、2013 年 11 月

安尾利彦：事例提供。厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV 陽性のゲイ男性の心理療法セミナー、東京、2013 年 11 月

西川歩美：コメンテーター。平成 25 年度遺族交流会、京都、2013 年 12 月

森田眞子：ファシリテーション。平成 25 年度遺族交流会、京都、2013 年 12 月

宮本哲雄：ファシリテーション。平成 25 年度遺族交流会、京都、2013 年 12 月

西川歩美：講師。平成 25 年度遺族・患者相談員合同研修会、大阪、2014 年 2 月

安尾利彦：事例提供。HIV とセクシュアリティ研修会、新潟、2014 年 2 月

宮本哲雄：事例提供。臨床心理室主催事例検討会、大阪、2014 年 3 月

仲倉高広：「青少年支援に関わる指導者のためのセクシュアルヘルス講座」。公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都、2014 年 3 月